

「ICT を活用した歩行者移動支援システムの水平展開に向けた 事例とノウハウについて」を掲載しました

(国土交通省 政策統括官付参事官室)

国土交通省では、段差や幅員、スロープ等のバリア情報やそれらを踏まえたバリアフリー経路等の提供を行う歩行者移動支援サービスの全国的な水平展開を図るため、平成 22 年度までに「モビリティサポートモデル事業」を実施してきました。

このたび、それらの成果を取りまとめた「ICT を活用した歩行者移動支援システムの水平展開に向けた事例とノウハウについて」を作成しましたのでご連絡いたします。

本書は、地域の課題に対応するため、ソフト施策を活用した歩行者の移動支援を実施しようとする地方公共団体や協議会等が、システム導入時に必要となるノウハウを得、参考に活用されることを期待して作成したものです。

本書の内容は、以下のホームページに掲載しておりますのでご活用下さい。

ICT を活用した歩行者移動支援システムの水平展開に向けた事例とノウハウについて

～ユニバーサル社会に対応した歩行者移動支援の推進～

<目次>

1. 総論
2. 歩行者移動支援システム
3. 歩行者移動支援システムの各構成要素について
4. 歩行者移動支援システムの継続的な運用体制について
5. まとめ

参考資料

【ICT を活用した歩行者移動支援システムの水平展開に向けた事例とノウハウについて】

http://www.mlit.go.jp/seisakutokatsu/soukou/seisakutokatsu_soukou_tk_000031.html

【問い合わせ先】

国土交通省 政策統括官付参事官付 TEL:03-5253-8794